

令和元年度東北農業試験研究推進会議・畜産飼料作推進部会 夏期研究会 開催要領

東北農業試験研究推進会議畜産飼料作推進部会長
農研機構 東北農業研究センター
畜産飼料作研究領域長 下司 雅也

1 趣旨

近年、国際貿易環境の不透明さや穀物価格の変動など、従来の輸入飼料に過度に頼った日本型畜産にも再考すべき要素が増えてきており、我が国農畜産物の魅力（付加価値）を向上させ、差別化や現場の更なる生産性の向上を可能にする技術を生み出し、生産者や産地が将来に夢や展望を持てるようにすることは急務となっている。

以上を踏まえ、本年度の夏期研究会においては、分科会において、ゲノミック評価、先端通信技術、子実用トウモロコシ生産技術等、生産性向上や省力化等に向けて各県が現在実施している研究課題に関する情報を共有する。また、シンポジウム「地域飼料資源フル活用のこだわり畜産物を消費者へ」を東北畜産学会と共催で開催し、自給飼料による畜産物生産の意義や東北地域における今後の畜産研究の方向性等について検討する。

2 開催日時

令和元年 8 月 26 日（月）13:30-17:00：分科会および全体会議

令和元年 8 月 27 日（火）10:00-12:30：シンポジウム（東北畜産学会共催）

3 開催場所

分科会および全体会議

山形テルサ 大会議室・研修室 A・会議室（山形県山形市双葉町 1-2-3）

シンポジウム（東北畜産学会共催）

山形テルサ アプローチ（同上）

4 議事内容

(1) 分科会（大家畜・中小家畜・飼料作 3 分科会）（8 月 26 日：13:30-15:30）

- ・大家畜分科会：ゲノミック評価を用いた大家畜の生産性向上に関する取組について各県における技術開発の現況紹介と討議
- ・中小家畜分科会：中小家畜における先端通信技術の活用の現状と課題各県における技術開発の現況紹介と討議
- ・飼料作分科会：子実用とうもろこし生産利用技術について各県における技術開発の現況紹介と討議

(2) 全体会議（8 月 26 日：15:45-17:00）

分科会報告・情報交換・連絡等

(3) シンポジウム（東北畜産学会共催）（8 月 27 日：10:00-12:30）

「地域飼料資源フル活用のこだわり畜産物を消費者へ」

5 参集範囲

国立研究開発法人および公設試験研究機関、東北農政局、県行政・普及部局、大学関係者、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォーム会員、その他推進部会長が必要と認めるもの

6 連絡先

畜産飼料作推進部会事務局：Email：xx145130@affrc.go.jp

電話でのお問い合わせ：019-643-3542 志水 学（畜産飼料作研究領域）